

令和 6 年度 全国学力・学習状況調査【調査結果】 ー 蓮田市の結果の概要について ー

蓮 田 市 教 育 委 員 会

本調査によって測定できるのは、学力の特定の一部・一側面であり、全ての学力を表すものではありません。

このことを踏まえ、蓮田市の結果の概要についてお伝えします。

1 実 施 状 況

- (1) 実 施 期 日 令和 6 年 4 月 1 8 日 (木)
- (2) 対 象 学 年 小学校第 6 学年 中学校第 3 学年
- (3) 調 査 内 容
- ア 教科に関する調査 (国語、算数・数学)
 - イ 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

2 学 力 ・ 学 習 状 況 調 査 結 果

(1) 教科に関する調査

全体的傾向	小・中学校ともに、国語、算数・数学で、県・全国の平均正答率を上回る結果であった。 小学校は、国語では、物語を読んで心に残ったところとその理由を書く問題がよくできている。中学校は、数学では統合的・発展的に考えたり、筋道を立てて考え証明したりする問題についてよくできている。また、小・中学校ともに無解答率は低く、児童・生徒は粘り強く取り組んでいる。
-------	---

【蓮田市と全国・埼玉県との比較の概要】

小学校第 6 学年 (平均正答率 単位%)

	国 語	算 数
蓮田市	72	69
埼玉県	69	64
全 国	67.7	63.4

中学校第 3 学年 (平均正答率 単位%)

	国 語	数 学
蓮田市	62	58
埼玉県	59	53
全 国	58.1	52.5

【国語】

学年・問題数・傾向	○：できていた内容	●：努力を要する内容
小学校第6学年 [問題数：14問] ☐ 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は上回っている。	○ 目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。 ○ 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。 ○ 人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする。	● 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する。 ● 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉える。
中学校第3学年 [問題数：15問] ☐ 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は上回っている。	○ 文章と図とを結びつけ、その関係を踏まえて内容を解釈する。 ○ 目的に応じて必要な情報に着目して要約する。 ○ 文脈に即して漢字を正しく書く。 ○ 表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する。	● 文の成分の順序や照応について理解している。

【算数・数学】

学年・問題数・傾向	○：できていた内容	●：努力を要する内容
小学校第6学年 [問題数：16問] ☐ 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は上回っている。	○ 計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述する。 ○ 除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係について理解している。 ○ 除数が小数である場合の除法の計算をする。 ○ 簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理する。	・なし
中学校第3学年 [問題数：16問] ☐ 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は上回っている。	○ 回転移動について理解している。 ○ 統合的・発展的に考え、成り立つ事柄を見い出し、数学的な表現を用いて説明する。 ○ グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈する。 ○ 筋道を立てて考え、証明する。	・なし

(2) 児童・生徒質問紙調査 (全国平均と比較して ○良好 △課題)

小学校第6学年 全体的傾向	・県や国の平均値とおおむね同様である。 ・基本的な生活習慣の定着ができています。 ・家庭での学習について、よい傾向にある。 ・学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることについて、よい傾向にある。 ・今までの授業について、アクティブラーニングに関する項目がよい傾向にある。 ・学級活動、総合的な学習の時間の取組について、よい傾向にある。 ・算数・理科・英語の勉強が好きであり、授業で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つと考えている。
具体的傾向 (質問紙の抜粋) 全国平均と比較して ○良好 △課題	○朝食を毎日食べている。 ○健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てている。 ○自分には、よいところがあると思う。 ○先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。 ○将来の夢や目標を持っている。 ○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。 ○人の役に立つ人間になりたいと思う。 ○5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立などを工夫して発表した。 ○5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行った。 ○授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができると思う。 ○あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。 ○国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。 ○算数の勉強は好き。 ○算数の勉強は大切だと思う。 ○算数の授業の内容はよく分かる。 ○算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。 ○算数の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしている。 ○算数の授業で学習したことを、今後の学習で活用しようとしている。 ○理科の勉強は好き。

	○自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりすることがある。 ○理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている。 ○英語の勉強は好き。 ○英語の勉強は大切だと思う。 △友達関係に満足している。 △あなたの家には、およそどれくらいの本があるか。 △5年生までに受けた授業で、PC,タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使用したか。
中学校3年生 全体的傾向	・小学校と同様に、県や国の平均値とおおむね同様である。 ・基本的な生活習慣の定着ができています。 ・道徳、学級活動、総合的な学習の時間の取組について、よい傾向にある。 ・学級やグループで話し合う活動や自分の考えを深めたり広げたりする活動について、よい傾向にある。 ・自分の考えをまとめる活動や自分の考えを発表する活動について、積極的に行っている傾向にある。 ・普段、1日当たりに携帯電話やスマートフォンで SNS や動画視聴をしている割合は、少ない。 ・携帯電話、スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている人が多い。 ・1, 2年生の英語の授業の数値がどれも高い。
具体的傾向 (質問紙の抜粋) 全国平均と比較して ○良好 △課題	○自分には、よいところがあると思う。 ○先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。 ○人が困っているときは、進んで助けている。 ○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。 ○先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う。 ○総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んできた。 ○あなたの学級では、学究生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。 ○道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活用に取り組んでいる。 ○国語の勉強は大切だと思う。 ○国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。 ○数学の勉強は大切だと思う。 ○数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。 ○理科の勉強は好き。 ○自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する

	る疑問を持ったり問題を見いだしたりすることがある。 ○理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている。 ○1，2年生の時に受けた授業では、英語を聞いて概要や要点をとらえる活動が行われていたと思う。 ○1，2年生の時に受けた授業では、英語を読んで概要や要点をとらえる活動が行われていたと思う。 ○1，2年生の時に受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思う。 ○1，2年生の時に受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思う。 ○1，2年生の時に受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思う。 △友達関係に満足している。 △普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいあるか。 △あなたの家には、およそどれくらいの本があるか。 △1，2年生のときに受けた授業で、PC,タブレットなどのICT機器を、どの程度使用したか。
--	---

3 今後の予定

市教育委員会	○市全体の児童・生徒の実態を国や県の実施した様々な調査のデータから分析し、種々の相関関係から導かれる教育の方向性を定める。 ○年次研修に加え、臨時的任用教員研修・授業研究会や、4年経験者を対象とした若手教員研修、また、中堅職員育成講座を実施し、授業力の向上を図る。 ○特に課題の見られた点に対しては、指導主事の派遣を通して、重点的に授業改善の取組を支援していく。 ○国語の学力向上推進委員会の活動を推進し、特に「話すこと・聞くこと」について取り組んでいく。 ○算数・数学学力向上推進委員会は、今後も継続して「数学的な見方・考え方を働かせ、数学的な表現を用いて説明すること」に的を絞り、学力向上について取り組んでいく。 ○ICT推進リーダー連絡協議会を通して、ICT活用のための研修を実施し、意見交換や集約化、個別の学習支援等、学力向上に有効的な活用を研究していく。
各小・中学校	○校長のリーダーシップのもと、自校の調査結果を分析・考察し、学校の教育活動や学習指導の改善に役立てる資料として活用していく。 ○授業中における学習規律を徹底するとともに、教科会や学年会を中心に学習指導法の工夫・改善を行い、子

	供たちに達成感を味わわせることができるような「ねらいがわかる授業」「共に考える場と、一人でじっくり考える場を保障した思考力を育成する授業」「一人一人の潜在的な力を最大限に引き出す授業」「自分の言葉で振り返りを書き、まとめを行う授業」を展開し、学ぶことが好きな児童・生徒を育成する。 ○キャリア教育の視点に立ち、学級指導や学級活動と連携させて、学力向上の推進を図る。 ○指導者を招いた授業研究会を積極的に行い、教師一人ひとりの指導技術の向上を図る。 ○個々の学力の伸びや、課題を重点的に分析し、個別最適な学びの充実を図る。 ○授業におけるＩＣＴ機器の有効な活用について研究をし、授業等での活用を進める。 ○「おすすめの本１２０選」を活用し、読書活動の充実を図る。
家庭・地域社会	○家庭での学習については、協力をいただき、定着を図る。家庭での過ごし方は、学力向上に大きな影響があることを理解し、子どもの生活習慣を改めて見直し、改善点があれば家庭で、じっくりと話し合うことの重要性を周知する。 ○タブレットＰＣやスマートフォンの使い方、テレビやテレビゲームの時間等については、家庭のルールがある家庭も多い。「蓮田市ケータイ・スマホ意見交換会」の取組を生かし、時間の上手な使い方や情報機器の使い方について学校で指導することはもちろん、家庭でもよく話し合う。 ○タブレットの使い方のルールを定着したうえで、ＩＣＴ機器の家庭学習での有効な活用を図る。インターネットを活用した調べ学習やe-ライブラリーのドリル学習など家庭へ周知し、安心・安全な学習における活用を進める。 ○子供の学習面でのつまずきを把握するとともに、学校からのアドバイスをもとに、解決方法を家庭でよく話し合い、質・量共に充実した家庭学習に取り組んでいく。 ○子供たちは誰しもが認めてほしい、褒めてほしいという思いを持っていることを理解し、子供の話をたくさん聞いて、たくさん褒めてもらうよう家庭に伝える。また学校からも家庭によい情報を発信していくことで、学校・家庭・地域が同じ方向を向いて進んでいくように取り組む。